

● まずは問題を解いてみてください。(解答時間:15分 目標)

問1 日本動物看護職協会が定めた「愛玩動物看護者の倫理綱領」に規定されていないのどれか。

- ① 動物に対する倫理と責任
- ② 飼養者に対する倫理と責任
- ③ 獣医師に対する倫理と責任
- ④ 動物看護実践と責任
- ⑤ 社会に対する倫理と責任

問2 動物病院から排出される廃棄物のうち産業廃棄物はどれか。

- a : 臓器
- b : 凝固血液
- c : 血液検査廃液
- d : 血液を拭ったガーゼ
- e : 被毛

- ① a, b ② b, c ③ c, d ④ d, e ⑤ a, e

問3 カンピロバクター食中毒ついて正しいのはどれか。

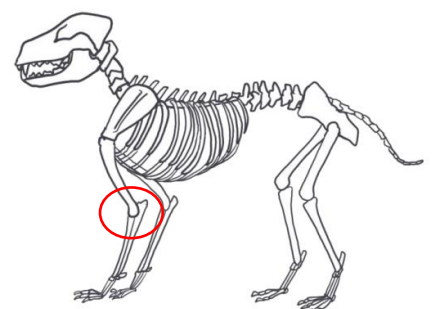
- ① ウイルスの感染が原因となる。
- ② 主な原因食品は魚介類の生食である。
- ③ アルコール消毒は無効で次亜塩素酸ナトリウムが有効である。
- ④ 原因菌はらせん菌に分類される。
- ⑤ 食品中で産生された毒素により症状が現れる食中毒型である。

問4 犬が摂取すると出血傾向を示すのはどれか。

- ① アボカド
- ② キシリトール
- ③ チョコレート
- ④ ネギ
- ⑤ ワルファリン

問5 図の○で囲んだ関節を構成する骨はどれか。

- ① 肩甲骨、上腕骨
- ② 環椎、軸椎
- ③ 大腿骨、脛骨、腓骨
- ④ 上腕骨、橈骨、尺骨
- ⑤ 寛骨、大腿骨



● まずは問題を解いてみてください。(解答時間:15分 目標)

問6 次のうち、非開放性のものはどれか。

- ① 切創
- ② 挫創
- ③ 裂創
- ④ 挫傷
- ⑤ 咬創

問7 胎児期に存在する特殊な循環系として存在しないのはどれか。

- ① 臍静脈
- ② 卵円孔
- ③ 動脈管
- ④ 静脈管
- ⑤ 膀胱円索

問8 感染症法により 1 類感染症に指定されている感染症はどれか。

- ① 重症熱性血小板減少症 (SFTS)
- ② オウム病
- ③ エボラ出血熱
- ④ 猫ひっかき病
- ⑤ レプトスピラ症

問9 非ステロイド性解熱鎮痛剤として使用する薬剤の組合せとして正しいのはどれか。

- a:デキサメタゾン
- b:メロキシカム
- c:フィロコキシブ
- d:プレドニゾロン
- e:モルヒネ

- ① a, b
- ② b, c
- ③ c, d
- ④ d, e
- ⑤ a, e

問10 0.5mg/50mlに調整された薬剤を、体重8kgの犬に5μg/kg/hで持続投与する場合の投与速度として正しいのはどれか。

- ① 0.4ml/h
- ② 0.8ml/h
- ③ 2.0ml/h
- ④ 4.0ml/h
- ⑤ 8.0ml/h

問1 日本動物看護職協会が定めた「愛玩動物看護者の倫理綱領」に規定されていないのどれか。

- ① 動物に対する倫理と責任
- ② 飼養者に対する倫理と責任
- ③ 獣医師に対する倫理と責任
- ④ 動物看護実践と責任
- ⑤ 社会に対する倫理と責任

● 指定講習会 ～愛玩動物看護者の倫理綱領～

I 動物に対する倫理と責任

愛玩動物看護者は、動物の生命と権利を尊重し、動物愛護と福祉の向上に努める。

愛玩動物看護者は、動物種の特性、行動を理解し、必要な援助を考え、普遍的愛情をもって動物看護を提供する。

愛玩動物看護者は、対象となる動物が危険な状況にあるとき、適切な動物看護の提供が阻害されている場合は、その動物の保護および安全確保に努める。

II 飼養者に対する倫理と責任

愛玩動物看護者は、動物飼養者に対して誠意を持って対応し、信頼関係を築くよう努め、その信頼関係に基づき動物看護を提供する。

愛玩動物看護者は、動物飼養者の知る権利および決定権を尊重する。

III 動物看護実践と責任

愛玩動物看護者は、業務上知り得た動物飼養者並びに看護動物の情報を保護し、守秘義務を遵守する。また、これを他者と共有する場合には十分な配慮のもと適正に管理する。

愛玩動物看護者は、自らの意思を持ち、自己の責任と能力を的確に判断した上で動物看護を実践し、自らの看護に責任を持つ。

愛玩動物看護者は、自ら学習を継続し、動物看護に必要な知識と技能の維持向上に積極的に努める。

愛玩動物看護者は、良質な動物看護を提供するために、動物医療福祉関係者等と協働する。

愛玩動物看護者は、動物看護に必要な基準に従い、それに基づく看護実践を通して専門的知識・技術の向上に努め、動物看護学の構築と発展に寄与する。

IV 愛玩動物看護者の社会に対する倫理と責任

愛玩動物看護者は、自らの品行を常に維持し、社会の信頼を得るよう努め、同時に良質な動物看護を提供するため、自己の健康保持と増進に努める。

愛玩動物看護者は、動物の看護とともに、人と動物の共通疾病に配慮し、人の健康並びに公衆衛生に貢献する。

愛玩動物看護者は、動物愛護および適正飼養の普及に努め、より良い社会づくりに留意し、環境問題について認識を深め、その改善に貢献する。

愛玩動物看護者は、一般社団法人日本動物看護職協会を通じて、愛玩動物看護者の社会的認知と評価を高め、動物医療と動物看護の発展に寄与し、人と動物のより良い共生社会の実現に貢献する。

問2 動物病院から排出される廃棄物のうち産業廃棄物はどれか

- a : 臓器 → 一般
 b : 凝固血液
 c : 血液検査廃液
 d : 血液を拭ったガーゼ → 一般
 e : 被毛 → 一般 (ゴミ)

- ① a, b ② b, c ③ c, d ④ d, e ⑤ a, e

● 感染性廃棄物

★ 感染性産業 → 血液, 廃液, 鋭利なもの...

感染性一般 → 以外 は一般廃棄物

血のついたガーゼ, 臓器

赤

オレンジ

黄

<液体・泥状>
血液, 廃液, 臓器

<固形>
ガーゼ

<鋭利>
針・刃・カス

問3 カンピロバクター食中毒について正しいのはどれか。

- ① ウイルスの感染が原因となる。
 ② 主な原因食品は魚介類の生食である。 → ア=ササギ
 ③ アルコール消毒は無効で次亜塩素酸ナトリウムが有効である。 → ノロウイルス
 ④ 原因菌はらせん菌に分類される。
 ⑤ 食品中で産生された毒素により症状が現れる食中毒型である。

● 食中毒

・ 細菌

毒素型 ... 黄色ブドウ球菌, ボツリヌス菌 など

感染型 ... サルモネラ菌, 大腸菌, カンピロバクター菌 など

・ ノロウイルス ... ノロウイルス ⇒ 冬場が多い, アルコール無効

・ 寄生虫 ... ア=ササギ

問4 犬が摂取すると出血傾向を示すのはどれか。

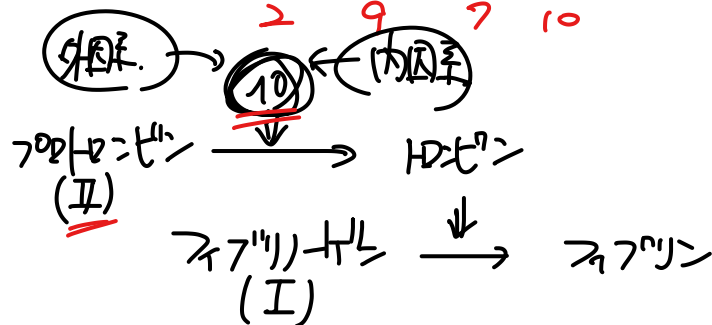
- ① アボカド (ペロレニン)
- ② キシリトール → 血糖値
- ③ チョコレート (テオブロミン)
- ④ ネギ (硫化アリル) → 溶血性貧血
- ⑤ ワルファリン → 凝固障害 (出血傾向) 殺虫剤

● 中毒物質 & 血液凝固

ビタミンK 阻害

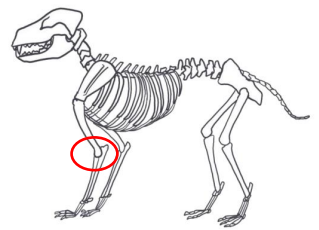
→ 血液凝固因子の産生に関与
= 第 II、IX、VII、X

肉 納豆

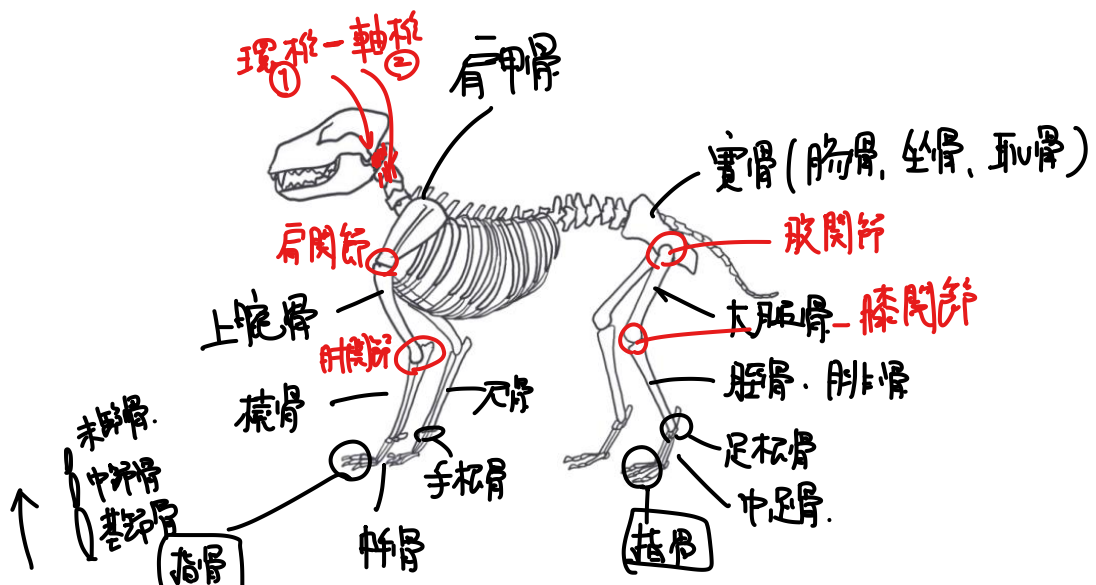


問5 図の○で囲んだ関節を構成する骨はどれか。

- ① 肩甲骨、上腕骨
- ② 環椎、軸椎
- ③ 大腿骨、脛骨、腓骨
- ④ 上腕骨、橈骨、尺骨
- ⑤ 寛骨、大腿骨



● 骨格



問6 次のうち、非開放性のものはどれか。

- ① 切創
- ② 挫創
- ③ 裂創
- ④ 挫傷
- ⑤ 咬創

★ [創 …… 開放性の損傷
傷 …… 非開放性の損傷]

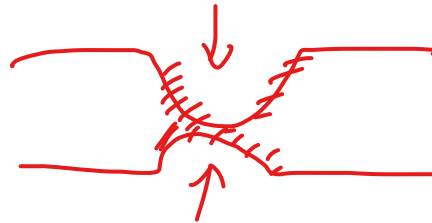
● 創傷管理

- ① 擦過傷
- ② 裂傷/切創
- ③ 剥離創の創傷
- ④ 穿孔

⑥ 火傷

⑦ 褥瘡

⑤ 挫傷



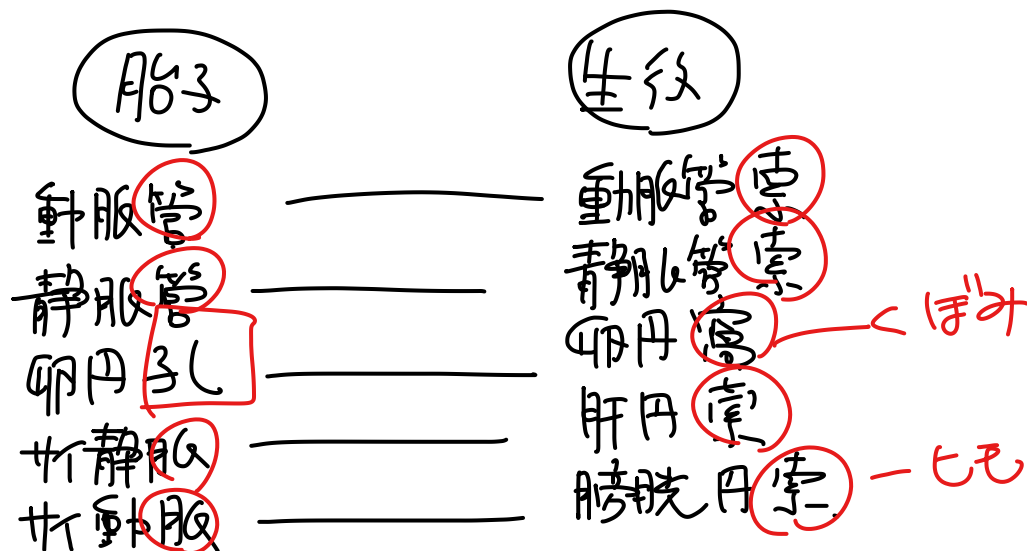
問7 胎児期に存在する特殊な循環系として存在しないのはどれか。

- ① 臍静脈
- ② 卵円孔
- ③ 動脈管
- ④ 静脈管
- ⑤ 膀胱門索

月胎子

一七

● 胎児循環



問8 感染症法により1類感染症に指定されている感染症はどれか。

- ① 重症熱性血小板減少症 (SFTS)
- ② オウム病
- ③ エボラ出血熱
- ④ 猫ひっかき病
- ⑤ レプトスピラ症

● 感染症法

1類感染症

南米出血熱, 痘とう(天然痘), Z-ルブリング病.

クリミアコンゴ出血熱, ラッサ熱, エボラ出血熱
ノスト.

NSAIDs

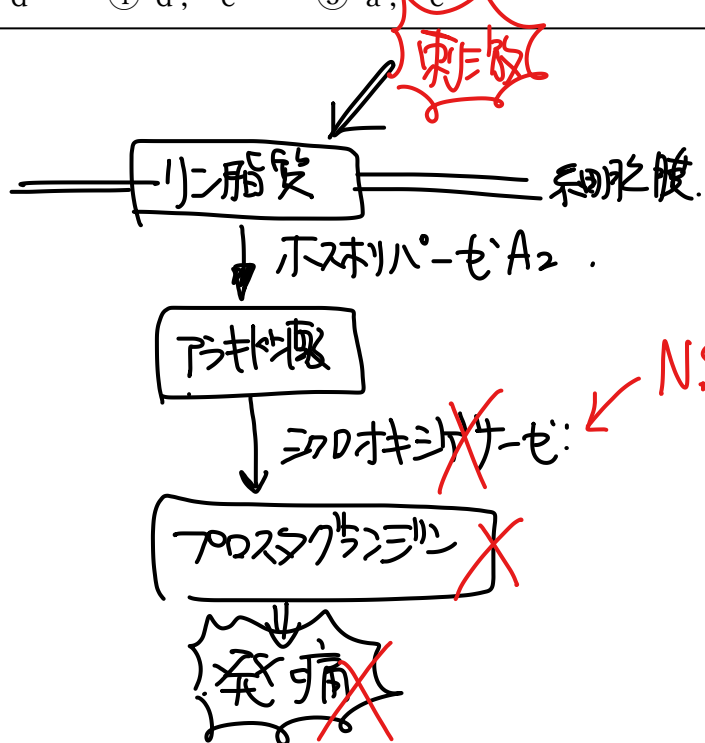
問9 非ステロイド性解熱鎮痛剤として使用する薬剤の組合せとして正しいのはどれか。

- a: デキサメタゾン
- b: メロキシカム
- c: フィロコキシブ
- d: プレドニゾロン
- e: モルヒネ

- ① a, b
- ② b, c
- ③ c, d
- ④ d, e
- ⑤ a, e

● 鎮痛剤

アラキドン酸



問10 0.5mg/50mlに調整された薬剤を、体重8kgの犬に5 μ g/kg/hで持続投与する場合の投与速度として正しいのはどれか。

- ① 0.4ml/h
② 0.8ml/h
③ 2.0ml/h
④ 4.0ml/h
⑤ 8.0ml/h

ml/h

$$1\text{mg} = 1000\mu\text{g}$$

● 計算問題

$$5\mu\text{g}/\text{kg}/\text{h}$$

$$\downarrow \times 8\text{kg}$$

$$40\mu\text{g}/\text{h}$$

$$\parallel \downarrow$$

$$4\text{ml}/\text{h}$$

$$0.5\text{mg}/50\text{ml}$$

$$50\text{ml} \text{ で } 0.5\text{mg} = 500\mu\text{g}$$

$$50\text{ml} \text{ で } 500\mu\text{g}$$

$$5\text{ml} \text{ で } 50\mu\text{g}$$

$$40\mu\text{g} \text{ — } \bigcirc \text{ ml?}$$

$$\left(\begin{array}{cc} 5\text{ml} & \text{—} & 50\mu\text{g} \\ 2\text{ml} & \text{—} & 40\mu\text{g} \end{array} \right)$$

$$50 \times x = 5 \times 40$$

$$50x = 200$$

$$x = 4$$

(5kgの犬に 3ml/kg/h で Drip
 1ml = 60滴の使用で 1分で何滴か?)

$$3\text{ml}/\text{kg}/\text{h}$$

$$\downarrow 5\text{kg}$$

$$15\text{ml}/\text{h}$$

$$15\text{ml} \downarrow 60\text{min}$$

$$900\text{滴}/60\text{分}$$

$$1\text{ml} = 60\text{滴}$$

$$\downarrow \div 60$$

$$15\text{滴}/1\text{分}$$